



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社あかつき本社  
 コード番号 8737 URL <https://www.akatsuki-fg.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島根 秀明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 北野 道弘

TEL 03-6821-0606

定時株主総会開催予定日 2021年6月28日

配当支払開始予定日

2021年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	39,090	13.6	17,065	63.6	2,590	62.5	2,218	102.7	1,430	0.9
2020年3月期	34,423	3.7	10,432	4.2	1,594	11.7	1,094	19.2	1,417	37.5

(注) 包括利益 2021年3月期 1,439百万円 (0.9%) 2020年3月期 1,452百万円 (56.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	営業収益 営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2021年3月期	46.20		10.5	3.7	6.6
2020年3月期	46.40	45.72	11.0	1.9	4.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 2百万円 2020年3月期 4百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期	61,660	13,792	22.3	447.35
2020年3月期	58,794	13,473	22.8	426.26

(参考) 自己資本 2021年3月期 13,775百万円 2020年3月期 13,388百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	6,852	1,436	5,386	15,544
2020年3月期	4,077	1,534	1,027	15,515

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2020年3月期		9.00		11.00	20.00	668	43.1	4.8
2021年3月期		8.50		9.50	18.00	605	39.0	4.1
2022年3月期(予想)		9.50		9.50	19.00		36.8	

当該「純資産配当率(連結)」は、年間1株当たり配当金の、期首と期末の1株当たり純資産の平均値に対する比率です。当社は、財務的な健全性を損なわない限りにおいて、同指標について、最低でも4.0%を維持することに努めております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	42,200	8.0	2,800	8.1	2,500	12.7	1,600	11.8

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 3 社 (社名) 特定目的会社なぎさ、  
合同会社よすみ、  
合同会社はまの

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	34,029,544 株	2020年3月期	34,029,544 株
期末自己株式数	2021年3月期	3,236,693 株	2020年3月期	2,621,056 株
期中平均株式数	2021年3月期	30,969,040 株	2020年3月期	30,557,839 株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、E S O P信託口及びB B T信託口が所有している当社株式を含めておりま  
 す。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、  
 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	5
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(連結損益計算書) .....	8
(連結包括利益計算書) .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(セグメント情報) .....	15
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）において、当社グループは以下のような取り組みを行ってまいりました。

証券関連事業では、新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限や外出制限等により、経済活動が著しく停滞する一方、主要国政府の積極的な財政活動や金融緩和により株式市場に資金が流入することで、株価は大幅に上昇しました。こうした環境の下、あかつき証券㈱においては、コアビジネスである金融商品仲介ビジネス（以下、「IFAビジネス」と言います。）の拡大、及び金融機関とのアライアンスの推進、AI・フィンテックを活用したアドバイスカの強化に努めました。IFAビジネスではIFA事業者向けの専用サイトの全面的なリニューアルや、業界初となる債券プライシング自動応答システム（Flash Answer Pro）の導入を実施し、また、取引ツールやITインフラについてもより一層の充実を図るべく開発を進め、取引利便性の向上に努めております。加えて、強みとする対面サポート力のさらなる強化や、当社の認知度向上のためのブランディング戦略などに注力しており、結果として、2021年3月末の契約仲介業者数は95社（2020年3月末比+23社）、契約仲介業者外務員数は733名（同+234名）、グループ会社のジャパンウェルスアドバイザーズ㈱（金融商品仲介業者）の提携金融機関における管理資産残高を含めた預り資産残高は3,003億円（内、IFA部門1,451億円）と拡大しております。金融機関とのアライアンス強化については、2019年11月に業務提携を開始した浜松いわた信用金庫に加え、2021年4月に足立成和信用金庫、富士信用金庫など3社と業務提携契約を締結しました。また、AI・フィンテックを活用したアドバイスカの強化として、2021年2月にグループ会社のトレード・サイエンス㈱を完全子会社化し、AIシグナル取引サービス（AI分析による個別株式売買シグナル提供サービス）の取引モデルの強化を進めております。

この結果、証券関連事業の業績は以下のとおりとなりました。

（証券関連事業の営業収益及びセグメント利益）

（単位：百万円）

	2020年3月期 連結会計年度	2021年3月期 連結会計年度	増減率
営業収益	5,126	12,448	142.8%
セグメント利益	356	1,555	336.1%

不動産関連事業では、新型コロナウイルス感染の再拡大による不動産マーケットへの影響は不透明な状況が続いております。東日本不動産流通機構（東日本レイズ）によると、2020年4月から2021年3月までの首都圏中古マンションの成約件数は前年同期比2.3%減の37,049戸となりましたが、特に緊急事態宣言解除後の取引が活発化しており、当該期間の成約㎡単価も前年同期を上回って推移しています。㈱マイプレイスにおいても、期初の販売戸数の減少分を補うには至りませんが、足元は活発な需要のもと堅調に推移したことに加え、経営合理化の寄与により、単体業績は売上高25,372百万円（前年同期比1.4%増）、経常利益1,670百万円（同20.9%増）、当期純利益1,147百万円（同22.6%増）となりました。一方、仕入に関しては空室物件（後述「タイプA」）及び賃借人付物件（後述「タイプB」）ともに第3四半期以降に持ち直したものの、通期では前年を下回りました。当社としては引き続き慎重な仕入決済基準のもと在庫リスクマネジメントの強化に努めます。

また、EWアセットマネジメント㈱では、当連結会計年度において保有する有料老人ホームの売却実績はありません（前連結会計年度においては3施設を売却）が、新規案件として2020年11月に熊本市において開発用地を取得いたしました。本施設は163床の住宅型有料老人ホームとして2022年4月の竣工を予定しております。今後とも安定的な案件組成に向け、グループ間の連携強化に努めます。

この結果、不動産関連事業の業績は以下のとおりとなりました。

（不動産関連事業の営業収益及びセグメント利益）

（単位：百万円）

	2020年3月期 連結会計年度	2021年3月期 連結会計年度	増減率
営業収益	29,516	26,825	△ 9.1%
セグメント利益	2,048	1,784	△ 12.9%

これらの結果、当社グループの当連結会計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

（単位：百万円）

	2020年3月期 連結会計年度	2021年3月期 連結会計年度	増減率
営業収益	34,423	39,090	13.6%
営業利益	1,594	2,590	62.5%
経常利益	1,094	2,218	102.7%
税金等調整前当期純利益	1,962	2,215	12.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,417	1,430	0.9%

なお、あかつき証券㈱及び㈱マイプレイスの業績は、当社連結業績に特に重要な影響があるため、以下、補足情報として開示いたします。

（補足情報）

I. あかつき証券㈱

あかつき証券㈱は、リテール営業に加え、戦略的に金融商品仲介ビジネス（以下「IFAビジネス」）の強化、地域金融機関との提携、AI・フィンテックを活用したアドバイス力の強化を進めております。中でも2014年から本格参入しているIFAビジネスは拡大傾向にあります。なお、以下はあかつき証券㈱に同子会社であるジャパンウェルスアドバイザーズ㈱及びトレード・サイエンス㈱を連結した補足情報です。

(a) 経営成績（四半期会計期間毎）

（単位：百万円）

	2020年3月期				2021年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
営業収益	1,060	1,210	1,302	1,607	2,053	2,901	3,316	4,112
経常利益	94	127	134	133	211	408	455	484
当期純利益	57	83	85	73	145	274	299	327

(b) 預り資産

（単位：百万円）

	2020年3月期				2021年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
預り資産	195,435	202,689	217,885	191,082	216,819	238,122	263,536	300,357
（うちIFA）	26,128	32,515	38,795	54,575	65,127	80,696	117,791	145,160

（注）あかつき証券㈱とジャパンウェルスアドバイザーズ㈱の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

(c) IFA契約仲介業者数及び契約外務員数

	2020年3月期				2021年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
契約仲介 業者数 (社数)	55	60	70	72	80	84	90	95
契約 外務員数 (人数)	290	327	407	499	536	557	667	733

II. ㈱マイブレイス

㈱マイブレイスは、東京都及び神奈川県を中心とした首都圏において、住宅一次取得者層向けの中古マンション事業を行っておりますが、①賃借人なしの空室中古マンションを購入後、直ちにリノベーションを施し売却するケース（以下「タイプA」といいます。）と、②賃借人付の中古マンションを購入後、一定期間賃料収入を得、賃借人の退去後にリノベーションを施し売却するケース（以下「タイプB」といいます。）があります。

(a) 単体の経営成績（四半期会計期間毎）

（単位：百万円）

	2020年3月期				2021年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
売上高	6,362	6,523	6,383	5,753	4,500	7,907	6,519	6,445
経常利益	310	421	355	294	214	489	479	486
当期純利益	207	290	233	204	147	335	328	335

(b) 仕入の状況（四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。）

（単位：戸）

	2020年3月期				2021年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
タイプA	125 (△34)	167 (+20)	111 (△28)	120 (△10)	106 (△19)	88 (△79)	111 (+0)	150 (+30)
タイプB	62 (+16)	75 (+25)	25 (△29)	53 (△37)	5 (△57)	6 (△69)	23 (△2)	33 (△20)
合計	187 (△18)	242 (+45)	136 (△57)	173 (△47)	111 (△76)	94 (△148)	134 (△2)	183 (+10)

(c) 販売の状況（四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。）

（単位：戸）

	2020年3月期				2021年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
販売戸数	189 (+27)	172 (+2)	176 (+0)	157 (△59)	136 (△53)	232 (+60)	194 (+18)	192 (+35)

(d) 在庫の状況（四半期会計期間末）

（単位：戸）

	2020年3月期				2021年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
タイプA	292	322	277	266	289	222	187	209
タイプB	590	630	635	662	614	543	518	487
合計	882	952	912	928	903	765	705	696

(2) 当期の財政状態の概況

①資産の状況

当連結会計年度末の資産合計は61,660百万円と、前連結会計年度末に比べ2,865百万円の増加となりました。主な増加項目及び金額は、預託金が6,214百万円、投資有価証券が1,294百万円であり、主な減少項目及び金額は販売用不動産が5,362百万円であります。

②負債の状況

当連結会計年度末の負債合計は47,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,547百万円の増加となりました。主な増加項目及び金額は、預り金が4,631百万円であり、主な減少項目及び金額は、短期借入金が1,514百万円であります。

③純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は13,792百万円となり、前連結会計年度末に比べ318百万円の増加となりました。主な増加項目及び金額は、利益剰余金が773百万円であり、主な減少項目及び金額は、資本剰余金が174百万円、自己株式の取得による減少が221百万円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は15,544百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは6,852百万円の収入（前連結会計年度は4,077百万円の収入）となりました。主な資金獲得要因は、税金等調整前当期純利益を2,215百万円、立替金及び預り金の増減額を4,626百万円、販売用不動産の増減額を5,362百万円、信用取引資産及び信用取引負債の増減額を1,221百万円計上したことあります。また、主な資金支出要因は、預託金の増減額を△6,214百万円計上したことあります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,436百万円の支出（前連結会計年度は1,534百万円の収入）となりました。主な資金支出要因は、投資有価証券の取得による支出を△1,320百万円計上したことあります。

財務活動によるキャッシュ・フローは5,386百万円の支出（前連結会計年度は1,027百万円の支出）となりました。主な資金獲得要因は、長期借入れによる収入を2,780百万円、社債の発行による収入を2,996百万円計上したことあります。また、主な資金支出要因は、短期借入金の純増額による支出を△1,514百万円、長期借入金の返済による支出を△4,458百万円、社債の償還による支出を△4,000百万円計上したことあります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつき、新型コロナウイルス感染拡大の影響は予測しがたいものの、足元の証券市況及び不動産市況並びに当社グループにおける取引状況を鑑み、下記のとおり予想しております。

(単位：百万円。%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
通期	42,200	8.0%	2,800	8.1%	2,500	12.7%	1,600	11.8%

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、外国人株主比率の推移や国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,462,736	16,432,900
預託金	8,000,000	14,214,200
トレーディング商品	306,092	907,172
信用取引資産	2,728,445	2,827,980
信用取引貸付金	2,392,284	2,690,539
信用取引借証券担保金	336,161	137,441
差入保証金	350,059	350,404
販売用不動産	24,695,507	19,333,110
その他	1,428,234	1,485,314
流動資産計	53,971,074	55,551,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,281,215	1,309,771
減価償却累計額	△606,408	△641,906
建物及び構築物（純額）	674,806	667,865
土地	680,255	731,066
その他	581,020	641,846
減価償却累計額	△413,273	△472,691
その他（純額）	167,747	169,154
有形固定資産合計	1,522,809	1,568,086
無形固定資産		
のれん	1,780,546	1,560,410
その他	221,082	213,660
無形固定資産合計	2,001,629	1,774,070
投資その他の資産		
投資有価証券	764,081	2,058,731
その他	729,669	902,423
貸倒引当金	△194,515	△193,730
投資その他の資産合計	1,299,236	2,767,424
固定資産計	4,823,674	6,109,581
資産合計	58,794,749	61,660,665



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	—	6,807
約定見返勘定	59,199	134,808
信用取引負債	1,165,750	2,486,903
信用取引借入金	729,226	2,288,013
信用取引貸証券受入金	436,523	198,890
預り金	8,181,015	12,812,226
受入保証金	537,074	568,857
短期社債	3,000,000	3,000,000
短期借入金	11,668,528	10,154,340
1年内返済予定の長期借入金	1,994,507	2,574,074
ノンリコース1年内返済予定長期借入金	337,940	24,720
1年内償還予定の社債	1,000,000	3,000,000
未払法人税等	175,377	416,458
その他	1,663,549	2,068,805
流動負債計	29,782,942	37,248,002
固定負債		
社債	3,000,000	—
長期借入金	10,108,335	7,850,797
ノンリコース長期借入金	768,300	1,060,700
退職給付に係る負債	241,542	252,265
役員株式給付引当金	768,195	892,728
その他	628,970	539,910
固定負債計	15,515,343	10,596,400
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	23,066	24,104
特別法上の準備金計	23,066	24,104
負債合計	45,321,352	47,868,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,665,452	5,665,452
資本剰余金	3,307,138	3,132,408
利益剰余金	5,419,019	6,192,737
自己株式	△1,001,037	△1,222,052
株主資本合計	13,390,572	13,768,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,924	△1,307
為替換算調整勘定	5,613	8,044
その他の包括利益累計額合計	△2,310	6,737
新株予約権	9,751	9,529
非支配株主持分	75,383	7,345
純資産合計	13,473,396	13,792,158
負債・純資産合計	58,794,749	61,660,665

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
<b>営業収益</b>		
受入手数料	1,488,812	2,192,620
トレーディング損益	3,321,591	9,986,189
金融収益	70,004	68,501
不動産事業売上高	29,515,872	26,824,843
その他	27,199	17,988
<b>営業収益計</b>	<b>34,423,480</b>	<b>39,090,144</b>
金融費用	20,300	43,687
<b>売上原価</b>		
不動産事業売上原価	23,970,427	21,980,659
<b>売上原価合計</b>	<b>23,970,427</b>	<b>21,980,659</b>
純営業収益	10,432,752	17,065,796
<b>販売費及び一般管理費</b>		
取引関係費	1,659,164	6,740,061
人件費	3,491,575	4,158,423
不動産関係費	372,297	387,034
事務費	513,665	587,741
減価償却費	178,853	166,530
租税公課	469,849	387,153
販売手数料	645,083	567,308
のれん償却額	257,165	220,135
その他	1,250,910	1,260,646
<b>販売費及び一般管理費合計</b>	<b>8,838,564</b>	<b>14,475,035</b>
営業利益	1,594,188	2,590,760
<b>営業外収益</b>		
受取利息	17,296	2,641
投資有価証券売却益	6,552	19,929
不動産取得税還付金	50,483	19,083
受取地代家賃	9,607	9,599
その他	47,763	37,186
<b>営業外収益合計</b>	<b>131,703</b>	<b>88,439</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	474,900	374,149
支払手数料	98,424	56,280
その他	57,872	29,805
<b>営業外費用合計</b>	<b>631,197</b>	<b>460,236</b>
経常利益	1,094,694	2,218,964

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
特別利益		
固定資産売却益	941,979	—
特別利益合計	941,979	—
特別損失		
金融商品取引責任準備金繰入れ	1,631	1,038
投資有価証券評価損	52,819	—
固定資産売却損	1,315	2,830
固定資産除却損	18,868	83
その他	10	—
特別損失合計	74,645	3,952
税金等調整前当期純利益	1,962,028	2,215,012
法人税、住民税及び事業税	453,938	1,066,466
法人税等調整額	84,588	△281,645
法人税等合計	538,526	784,821
当期純利益	1,423,502	1,430,190
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失（△）	5,736	△461
親会社株主に帰属する当期純利益	1,417,765	1,430,652

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,423,502	1,430,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,351	6,616
持分法適用会社に対する持分相当額	△84	2,431
その他の包括利益合計	29,266	9,047
包括利益	1,452,768	1,439,238
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,447,032	1,439,700
非支配株主に係る包括利益	5,736	△461

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,492,516	3,141,209	4,553,464	△835,092	12,352,098
当期変動額					
新株の発行	172,935	172,935			345,871
剰余金の配当			△552,211		△552,211
親会社株主に帰属する当期純利益			1,417,765		1,417,765
自己株式の取得				△210,542	△210,542
自己株式の処分		△7,006		44,597	37,590
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	172,935	165,928	865,554	△165,945	1,038,473
当期末残高	5,665,452	3,307,138	5,419,019	△1,001,037	13,390,572

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	△37,275	5,698	△31,577	21,034	58,529	12,400,085
当期変動額						
新株の発行						345,871
剰余金の配当						△552,211
親会社株主に帰属する当期純利益						1,417,765
自己株式の取得						△210,542
自己株式の処分						37,590
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	29,351	△84	29,266	△11,282	16,853	34,837
当期変動額合計	29,351	△84	29,266	△11,282	16,853	1,073,311
当期末残高	△7,924	5,613	△2,310	9,751	75,383	13,473,396

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,665,452	3,307,138	5,419,019	△1,001,037	13,390,572
当期変動額					
剰余金の配当			△656,934		△656,934
親会社株主に帰属する当期純利益			1,430,652		1,430,652
自己株式の取得				△458,566	△458,566
自己株式の処分		56,242		237,552	293,794
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△230,972			△230,972
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△174,730	773,718	△221,014	377,973
当期末残高	5,665,452	3,132,408	6,192,737	△1,222,052	13,768,545

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△7,924	5,613	△2,310	9,751	75,383	13,473,396
当期変動額						
剰余金の配当						△656,934
親会社株主に帰属する当期純利益						1,430,652
自己株式の取得						△458,566
自己株式の処分						293,794
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△230,972
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	6,616	2,431	9,047	△222	△68,037	△59,212
当期変動額合計	6,616	2,431	9,047	△222	△68,037	318,761
当期末残高	△1,307	8,044	6,737	9,529	7,345	13,792,158

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,962,028	2,215,012
減価償却費	247,785	195,427
のれん償却額	257,165	220,135
貸倒引当金の増減額（△は減少）	14,080	△785
賞与引当金の増減額（△は減少）	25,319	98,780
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	132,707	124,533
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	13,698	10,722
投資有価証券売却損益（△は益）	△6,552	△19,929
投資有価証券評価損益（△は益）	52,819	—
固定資産売却損益（△は益）	△940,663	2,830
受取利息及び受取配当金	△21,145	△6,297
支払利息	474,900	374,149
差入保証金の増減額（△は増加）	△80,057	△345
預託金の増減額（△は増加）	△2,800,000	△6,214,200
トレーディング商品の増減額	717,328	△594,273
販売用不動産の増減額（△は増加）	1,354,911	5,362,396
約定見返勘定の増減額（△は増加）	△787,829	75,608
信用取引資産及び信用取引負債の増減額	633,216	1,221,618
立替金及び預り金の増減額	3,679,908	4,626,447
受入保証金の増減額（△は減少）	211,329	31,782
その他	47,399	124,625
小計	5,188,350	7,848,241
利息及び配当金の受取額	6,863	6,182
利息の支払額	△496,082	△404,233
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△621,153	△597,663
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,077,977	6,852,526

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	—
定期預金の払戻による収入	975,547	—
有形固定資産の取得による支出	△867,988	△168,543
有形固定資産の売却による収入	2,071,911	—
無形固定資産の取得による支出	△15,615	△55,289
投資有価証券の取得による支出	△429,692	△1,320,650
投資有価証券の売却による収入	32,210	27,759
投資有価証券の償還による収入	—	13,444
連結の範囲の変更を伴う子会社株式 の取得による支出	△192,826	—
貸付けによる支出	△66,055	△19,092
貸付金の回収による収入	22,120	76,133
その他	14,754	9,648
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,534,364	△1,436,589
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	473,331	△1,514,188
長期借入れによる収入	5,084,246	2,780,370
長期借入金の返済による支出	△3,496,857	△4,458,341
ノンリコース長期借入れによる収入	1,480,000	319,400
ノンリコース長期借入金の返済による支出	△3,060,920	△340,220
社債の発行による収入	2,993,815	2,996,823
社債の償還による支出	△4,000,000	△4,000,000
株式の発行による収入	325,259	—
自己株式の取得による支出	△165,945	△200,966
配当金の支払額	△552,211	△656,934
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	—	△298,116
その他	△107,717	△14,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,027,000	△5,386,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	4,585,349	29,193
現金及び現金同等物の期首残高	10,929,866	15,515,215
現金及び現金同等物の期末残高	15,515,215	15,544,409



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「証券関連事業」及び「不動産関連事業」を報告セグメントとしており、「証券関連事業」は有価証券の売買等及び売買等の委託の媒介、有価証券の引き受け及び売出し、有価証券の募集及び売出しの取り扱い等を、「不動産関連事業」は、主に不動産の売買、賃貸、及び不動産関連金融商品への投資に関するアセットマネジメントを行っております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産 関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	4,907,608	29,515,872	34,423,480	—	34,423,480
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	218,846	841	219,687	△219,687	—
計	5,126,454	29,516,714	34,643,168	△219,687	34,423,480
セグメント利益	356,796	2,048,010	2,404,807	△810,618	1,594,188
セグメント資産	18,871,181	38,287,385	57,158,566	1,636,182	58,794,749
その他の項目					
減価償却費	90,653	150,929	241,582	6,203	247,785
のれん償却額	—	247,351	247,351	9,813	257,165
のれん未償却額	—	1,775,639	1,775,639	4,906	1,780,546
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	44,928	931,775	976,703	1,608	978,312

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△810,618千円には、セグメント間取引消去△1,718,429千円、全社収益1,606,402千円、全社費用△688,778千円及びのれん償却額△9,813千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に㈱マイプレイスから当社への配当金の消去△1,500,000千円、当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去△218,846千円であり、全社収益は主に上記受取配当金及び受取賃料、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額1,636,182千円には、投資と資本の相殺消去等△14,821,135千円、債権と債務の相殺消去△5,108,705千円、貸倒引当金の消去183,791千円、及び全社資産21,382,231千円が含まれております。
  - (3) 減価償却費の調整額6,203千円は、報告セグメントに帰属しない減価償却費です。
  - (4) のれん償却額の調整額は、EWアセットマネジメント㈱及び合同会社さつきに係るものであります。
  - (5) のれん未償却額の調整額は、EWアセットマネジメント㈱及び合同会社さつきに係るものであります。
  - (6) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	証券関連事業	不動産 関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	12,265,300	26,824,843	39,090,144	—	39,090,144
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	183,349	741	184,091	△184,091	—
計	12,448,650	26,825,585	39,274,236	△184,091	39,090,144
セグメント利益	1,555,939	1,784,759	3,340,698	△749,937	2,590,760
セグメント資産	28,044,632	30,146,320	58,190,953	3,469,712	61,660,665
その他の項目					
減価償却費	95,103	94,852	189,956	5,471	195,427
のれん償却額	—	215,228	215,228	4,906	220,135
のれん未償却額	—	1,560,410	1,560,410	—	1,560,410
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	153,921	79,283	233,205	512	233,717

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△749,937千円には、セグメント間取引消去△1,383,333千円、全社収益1,316,196千円、全社費用△677,894千円及びのれん償却額△4,906千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に㈱マイプレイスから当社への配当金の消去△1,000,000千円、㈱バウテックから当社への配当金の消去△200,000千円、当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去△183,349千円であり、全社収益は主に上記受取配当金及び受取賃料、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額3,469,712千円には、投資と資本の相殺消去等△12,928,450千円、債権と債務の相殺消去△3,993,530千円、貸倒引当金の消去193,791千円、及び全社資産20,197,817千円が含まれております。
  - (3) 減価償却費の調整額5,471千円は、報告セグメントに帰属しない減価償却費です。
  - (4) のれん償却額の調整額は、EWアセットマネジメント㈱及び合同会社さつきに係るものであります。
  - (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が、連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への営業収益が損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が、連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への営業収益が損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当連結会計年度及び当連結会計年度末において、負ののれん償却額及び負ののれんの未償却残高はありません。また、のれん償却額及びのれん未償却残高に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

当連結会計年度及び当連結会計年度末において、負ののれん償却額及び負ののれんの未償却残高はありません。また、のれん償却額及びのれん未償却残高に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	426.26円	447.35円
1株当たり当期純利益金額	46.40円	46.20円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	45.72円	—

（注）1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	1,417,765	1,430,652
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益金額(千円)	1,417,765	1,430,652
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,557	30,969
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	452	—
(うち新株予約権(千株))	(452)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調 整後1株当たり当期純利益金額の算定に 含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	13,473,396	13,792,158
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	85,135	16,875
(うち非支配株主持分(千円))	(75,383)	(7,345)
(うち新株予約権(千円))	(9,751)	(9,529)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	13,388,261	13,775,282
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	31,408	30,792

3. E S O P信託口及びB B T信託口が保有する当社の株式は、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。1株当たり当期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度においては、E S O P信託口93千株、B B T信託口2,152千株であり、当連結会計年度においては、E S O P信託口118千株、B B T信託口2,456千株であります。

また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の株式数は、前連結会計年度においては、E S O P信託口185千株、B B T信託口2,423千株であり、当連結会計年度においては、E S O P信託口253千株、B B T信託口2,915千株であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。